



平成30年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成30年1月31日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社コーセー

コード番号 4922 URL <http://www.kose.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小林 一俊

問合せ先責任者 (役職名) IR室長 (氏名) 中田 仁典 TEL 03-3273-1511

四半期報告書提出予定日 平成30年2月9日 配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無： 有

四半期決算説明会開催の有無： 有

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績（平成29年4月1日～平成29年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	223,566	16.2	38,980	29.2	39,652	27.5	24,724	32.8
29年3月期第3四半期	192,332	7.8	30,177	△0.5	31,111	0.5	18,618	3.3

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 28,111百万円 (81.3%) 29年3月期第3四半期 15,507百万円 (△17.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	433.44	—
29年3月期第3四半期	326.39	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第3四半期	254,548	190,796	69.1	3,084.18
29年3月期	247,191	177,130	66.3	2,871.60

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 175,933百万円 29年3月期 163,807百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	47.00	—	63.00	110.00
30年3月期	—	63.00	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	63.00	126.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	300,000	12.5	46,000	17.5	46,700	18.0	27,100	25.1	475.07

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 （社名）ー、除外 ー社 （社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期3Q	60,592,541株	29年3月期	60,592,541株
② 期末自己株式数	30年3月期3Q	3,548,777株	29年3月期	3,548,424株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期3Q	57,043,965株	29年3月期3Q	57,044,257株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が発表日現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は経済情勢の変動等に伴うリスクや様々な不確定要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（2）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

第3四半期連結累計期間(平成29年4月1日から平成29年12月31日まで)

セグメントの名称	前第3四半期 累計		当第3四半期 累計		前年同期比較	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	増減額 (百万円)	増減率 (%)
化粧品事業	141,675	73.7	168,694	75.5	27,018	19.1
コスメタリー事業	48,956	25.4	53,091	23.7	4,134	8.4
その他	1,699	0.9	1,780	0.8	81	4.8
売上高計	192,332	100.0	223,566	100.0	31,234	16.2

区分	前第3四半期 累計		当第3四半期 累計		前年同期比較	
	金額 (百万円)	売上比 (%)	金額 (百万円)	売上比 (%)	増減額 (百万円)	増減率 (%)
営業利益	30,177	15.7	38,980	17.4	8,803	29.2
経常利益	31,111	16.2	39,652	17.7	8,540	27.5
親会社株主に帰属する四半期純利益	18,618	9.7	24,724	11.1	6,106	32.8

当第3四半期連結累計期間(平成29年4月1日から平成29年12月31日まで)における日本経済は、企業収益や雇用情勢の改善、設備投資の増加などを背景に緩やかな回復基調が続きました。化粧品業界におきましては、平成29年度の経済産業省化粧品出荷統計(1月～11月)によりますと、販売個数・販売金額ともに前年と比べ増加しました。また、当社グループが主に事業展開しているアジア・米国経済につきましては、米国では着実な景気回復が続き、アジアでは総じて持ち直しの動きが見られました。

このような市場環境の中、当社グループは、中期経営計画「グローバルブランド育成期」の最終年度を迎え、「世界に通用するブランドの育成」と「経営資産の継続的なパフォーマンス向上」の2つの基本戦略のもと、世界で存在感のある企業への進化を目指し、一段と成長のスピードを加速させてまいりました。

当第3四半期連結累計期間における当社グループの業績につきましては、全セグメント及び全ての地域において前年を上回り、売上高は前年同期比16.2%増の223,566百万円(為替の影響を除くと15.5%増)となり、同期間としては5期連続で過去最高となりました。なお、連結売上高に占める海外売上高の割合は23.7%となりました。

利益につきましては、原価率の高い製品の売上構成比が上昇したものの、増収効果による売上総利益の増加、販売費及び一般管理費の効果的な運用等により、営業利益は38,980百万円(前年同期比29.2%増)、経常利益は39,652百万円(同27.5%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は24,724百万円(同32.8%増)となり、いずれも過去最高となりました。

化粧品事業につきましては、ハイプレステージ領域において、国内外の百貨店を中心に保湿美容液「モイストチュア リポソーム」のキャンペーンを展開した「コスメデコルテ」、高級スキンケア製品等が好調だった(株)アルビオン、店頭販売・Eコマースともに高成長が続く米国タルト社が業績を牽引したことに加え、「ジルスチュアート」、「アディクション」などメイク系ブランドも好調に推移しました。また、プレステージ領域におきましては、プロモーションを通じて季節に応じた使用提案を行った「雪肌精」や、ブランド認知拡大を図るため継続的なキャンペーンを展開した「ONE BY KOSÉ 薬用保湿美容液」など、各ブランドでお客さまづくりに取り組みました。これらの結果、当事業の売上高は168,694百万円(前年同期比19.1%増)、営業利益は36,859百万円(同28.5%増)となりました。

コスメタリー事業につきましては、新製品を投入した「クリアターン」、新ラインが好評な「ジュレーム」等の重点カテゴリーブランドの育成に注力したコーセーコスメポート(株)が牽引したほか、「ファッション」、「ヴィセ」、「ネイルホリック」等のセルフメイクブランドがそれぞれ複数のカテゴリーでシェアを拡大するなど好調に推移しました。これらの結果、当事業の売上高は53,091百万円(同8.4%増)、営業利益は4,731百万円(同19.2%増)となりました。

アメニティ製品の販売やOEM生産などを展開するその他の事業につきましては、売上高は1,780百万円(同4.8%増)、営業利益は864百万円(同2.7%増)となりました。

地域別売上高(外部顧客に対する売上高)の状況

	前第3四半期 累計		当第3四半期 累計		増減額 (百万円)	増減率 (%)
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)		
日本	157,857	82.1	170,556	76.3	12,699	8.0
アジア	18,424	9.6	23,886	10.7	5,461	29.6
北米	15,331	7.9	27,006	12.1	11,674	76.1
その他	717	0.4	2,116	0.9	1,398	195.0
売上高計	192,332	100.0	223,566	100.0	31,234	16.2

(注) 第1四半期連結会計期間より、地域別売上高の区分を従来の「欧米他」から、「北米」及び「その他」に変更しております。なお、前第3四半期連結累計期間につきましては、変更後の区分方法にて作成したものを記載しております。

<日本>

百貨店、専門店及びドラッグストア等の主要な販売チャネルでプラス成長となりました。特に、ハイプレステージ領域のブランドを中心に展開する百貨店におきましては、堅調な国内需要に加え、訪日観光客の増加に伴うインバウンド需要も取り込むなど、大幅に伸長しました。また、プレステージ領域及びコスメタリー事業のブランドを中心に展開するドラッグストアなども順調に推移しました。これらの結果、売上高は170,556百万円(前年同期比8.0%増)となりました。

<アジア>

メイドインジャパン製品に対するニーズの高まりや訪日リピーターの増加等を背景に、「コスメデコルテ」をはじめとした重点グローバルブランドの成長が加速しました。特に、Eコマースが拡大を続ける中国、免税チャネルの高成長が継続した韓国が牽引したことに加え、それ以外の国や地域も概ね好調に推移しました。これらの結果、売上高は23,886百万円(同29.6%増)となりました。

<北米>

セフォラやウルタなどの専門店チャネル、リニューアルした自社ECサイトでの販売が引き続き好調に推移するなど、店頭販売・Eコマースともに高成長が続く米国タルト社が業績を牽引した結果、売上高は27,006百万円(同76.1%増)となりました。

<その他>

欧州や豪州などで米国タルト社のEコマース等による販売が好調だった結果、売上高は2,116百万円(同195.0%増)となりました。

(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年10月31日に発表しました通期連結業績予想は変更ありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	71,921	72,960
受取手形及び売掛金	38,328	39,254
有価証券	12,672	4,291
商品及び製品	20,982	27,836
仕掛品	2,086	3,343
原材料及び貯蔵品	17,660	21,097
繰延税金資産	5,647	5,391
その他	2,823	2,986
貸倒引当金	△47	△46
流動資産合計	172,074	177,114
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	37,087	37,768
減価償却累計額	△19,686	△20,529
建物及び構築物(純額)	17,400	17,239
機械装置及び運搬具	15,242	15,680
減価償却累計額	△11,759	△12,020
機械装置及び運搬具(純額)	3,482	3,660
工具、器具及び備品	34,511	35,969
減価償却累計額	△29,442	△30,482
工具、器具及び備品(純額)	5,068	5,486
土地	16,524	16,549
リース資産	1,637	1,909
減価償却累計額	△1,094	△1,250
リース資産(純額)	543	659
建設仮勘定	1,801	3,692
有形固定資産合計	44,822	47,289
無形固定資産		
ソフトウェア	1,445	1,548
のれん	8,479	7,814
その他	7,814	7,127
無形固定資産合計	17,739	16,490
投資その他の資産		
投資有価証券	6,864	9,172
繰延税金資産	3,156	1,971
その他	2,727	2,739
貸倒引当金	△193	△228
投資その他の資産合計	12,554	13,654
固定資産合計	75,116	77,434
資産合計	247,191	254,548

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,533	10,128
電子記録債務	11,978	13,608
短期借入金	1,016	622
リース債務	174	237
未払金	12,184	8,139
未払費用	10,964	5,595
未払法人税等	6,077	6,122
未払消費税等	1,242	1,816
返品調整引当金	1,998	1,949
その他	862	3,061
流動負債合計	56,033	51,282
固定負債		
リース債務	438	511
役員退職慰労引当金	2,346	2,482
退職給付に係る負債	8,207	6,531
繰延税金負債	2,583	2,408
その他	452	536
固定負債合計	14,027	12,469
負債合計	70,060	63,752
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,848	4,848
資本剰余金	6,388	95
利益剰余金	157,205	174,742
自己株式	△9,093	△9,097
株主資本合計	159,348	170,588
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,462	2,996
為替換算調整勘定	3,915	2,972
退職給付に係る調整累計額	△918	△623
その他の包括利益累計額合計	4,458	5,344
非支配株主持分	13,323	14,863
純資産合計	177,130	190,796
負債純資産合計	247,191	254,548

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	192,332	223,566
売上原価	47,041	59,878
売上総利益	145,290	163,688
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	13,046	13,827
販売促進費	36,020	39,647
運賃及び荷造費	6,923	8,258
給料及び手当	31,755	33,263
退職給付費用	1,366	1,437
法定福利費	4,858	5,167
減価償却費	2,167	2,237
その他	18,975	20,867
販売費及び一般管理費合計	115,113	124,707
営業利益	30,177	38,980
営業外収益		
受取利息	173	136
受取配当金	70	73
特許実施許諾料	29	33
有価証券償還益	70	2
為替差益	453	296
雑収入	170	184
営業外収益合計	967	726
営業外費用		
支払利息	3	4
支払手数料	7	30
雑損失	22	19
営業外費用合計	33	54
経常利益	31,111	39,652
特別利益		
固定資産売却益	168	1
投資有価証券売却益	—	0
特別利益合計	168	2
特別損失		
固定資産処分損	178	79
投資有価証券評価損	—	4
減損損失	21	—
その他	—	1
特別損失合計	200	85
税金等調整前四半期純利益	31,080	39,568
法人税、住民税及び事業税	9,102	11,815
法人税等調整額	1,402	532
法人税等合計	10,505	12,348
四半期純利益	20,574	27,220
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,955	2,495
親会社株主に帰属する四半期純利益	18,618	24,724

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)
四半期純利益	20,574	27,220
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	240	1,534
為替換算調整勘定	△5,593	△970
退職給付に係る調整額	285	326
その他の包括利益合計	△5,067	891
四半期包括利益	15,507	28,111
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	13,739	25,611
非支配株主に係る四半期包括利益	1,767	2,500

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成29年9月29日付で、連結子会社Tarte, Inc.の株式4.5%を6,983百万円で追加取得いたしました。この結果、当社の議決権比率は98.0%となり、当第3四半期連結累計期間において、資本剰余金が6,293百万円、非支配株主持分が689百万円減少し、当第3四半期連結会計期間末において資本剰余金が95百万円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結損益 計算書計上額 (注3)
	化粧品事業	コスメタリー 事業	計				
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	141,675	48,956	190,632	1,699	192,332	—	192,332
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	387	387	461	849	△849	—
計	141,675	49,344	191,020	2,161	193,181	△849	192,332
セグメント利益	28,695	3,969	32,664	842	33,507	△3,329	30,177

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、アメニティ製品事業・不動産賃貸事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額は、以下のとおりであります。

(単位:百万円)

セグメント間取引消去	△45
各報告セグメントに配分していない全社費用	△3,284

全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の管理部門に係る費用及び基礎研究費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失、又はのれん等に関する情報

当第3四半期連結累計期間において、重要な事項はありません。

3. 地域に関する売上高情報

(単位:百万円)

日本	アジア	北米	その他	計
157,857	18,424	15,331	717	192,332

II 当第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結損益 計算書計上額 (注3)
	化粧品事業	コスメタリー 事業	計				
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	168,694	53,091	221,785	1,780	223,566	—	223,566
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	336	336	458	794	△794	—
計	168,694	53,427	222,121	2,238	224,360	△794	223,566
セグメント利益	36,859	4,731	41,591	864	42,456	△3,475	38,980

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、アメニティ製品事業・不動産賃貸事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額は、以下のとおりであります。

(単位:百万円)

セグメント間取引消去	74
各報告セグメントに配分していない全社費用	△3,549

全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の管理部門に係る費用及び基礎研究費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失、又はのれん等に関する情報

当第3四半期連結累計期間において、重要な事項はありません。

3. 地域に関する売上高情報

(単位:百万円)

日本	アジア	北米	その他	計
170,556	23,886	27,006	2,116	223,566

(注) 第1四半期連結会計期間より、従来の「欧米他」に含まれていた「北米」の重要性が増したため、「北米」及び「その他」に区分して記載する方法に変更しております。なお、前第3四半期連結累計期間の「3. 地域に関する売上高情報」は、変更後の区分に組み替えて表示しております。